



とつか 2019年4月会報 第294号

国際会長(IP) Moon Sang Bong (韓国)

2018 主 題 “Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東日本区)

主 題 “Action” 「アクション」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

主 題 「為せば、成る」 “No challenge, No fruit.”

2019 スローガン 「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」

湘南・沖縄部部長 佐藤 節子 (厚木)

主 題 「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

クラブ会長 浦出 昭吉 「今こそ会員増強目指して初心に帰ろう」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝



会員ひと言

柴原 和可

◎今月の聖句◎

仕えられるためではなく 仕えるために

—マタイによる福音書 20章 28節から—



～ワイズメンとなって～

自己紹介を兼ね、クラブの皆さまにごあいさつ申し上げます。

この度、横浜とつかワイズメンズクラブに入会させていただきます柴原 和可(しばはら・カズヨシ)と申します。どうぞ宜しくお願い

申し上げます。

私は、YMCA 関係では山手台センターの運営委員を仰せつつかっております。出身地は、三重県の志摩で、皆さまよくご存知の真珠の故郷です。仕事の方はとうの昔に定年を迎えリタイアしましたが、勤めていた会社は、かつてブラウン管時代のテレビを主力製品としておりましたが、その後エアコンや脱臭機器なども製造しております。

趣味はマラソンで、関東地区のフルマラソンのおおかと海外の大会にも参加した経験も有ります。最近とみに脚力の衰えが著しく、細々と '東伊豆クロスカントリー大会' や '横浜シーサイド・トライアスロン大会'、また逗子や館山での OWS (海の遠泳) に出場している程度です。

ワイズメンズクラブのことは、まだ何も分かっていませんので、先輩皆さま方のご指導を賜ります様お願い致します。

この聖句は、「2019 年度横浜 YMCA 全体事業方針・計画の冒頭に掲げられている基本聖句です。

横浜 YMCA では、1884 年に創立以来、イエス・キリストの愛と奉仕の精神に従い、一人ひとりの命が尊ばれる平和な社会の実現に取り組んできました。そして、つながりを深め、身近な人の痛みや、社会・世界の課題を他人事から自分事に変える力となって、出会った人を笑顔に変え、喜びが連鎖する「ポジティブネット」のある社会を目指します…と示されています。三唱して止まない基本聖句です。

強調月間 LT

Leadership Training の略。会員のリーダーシップの開発・向上を目的に行う研修をいいます。

区では、この目的達成のための専門機関として LT 委員会が置かれ、研修を担当しています。

今期も実施され、浦出次期会長が参加しました。

3 月在籍者数			3 月出席者数			出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・	B A P Y	ロ	バ
メ	ン		メ	ン		94%	他	(円)	(g)			(円)	(円)		
メ	8		メ	2					0		0		0		8,150
			ゲスト	6					0		0		0		0
計	20		合	19					0		0		0		8,150

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

☆第1例会報告☆

浦出 昭吉

日時： 2019年3月2日(土) 18:30~20:30
会場： 湘南とつかYMCA 1階ホール
参加者：(ゲスト) パン工房“アンジュ”相馬良文施設長
入会予定者：柴原和可さん
(ビジター) 佐藤節子部長・厚木クラブ
千葉裕子会長・田中義宣さん・
兵藤芳郎さん：以上鎌倉クラブ
(メン) 岡・加藤・佐藤・瀬戸・土方・吉原・浦出
(メネット) 加藤・吉原 計 15名

久しぶりの多彩な顔ぶれとなり、終始にこやかに、和やかに、そして意義深くひと時を過ごすことができました。

開会礼拝の後のコグニサイズ、今回はウエルネス事業主任でもある担当主事によるご指導、自然、熱も入りました。そしてお食事タイム、加藤メネットご提供のカレーライスです。吉原メネットからの差し入れも有って、楽しく頂きました。

佐藤部長挨拶は、先ごろの沖縄訪問の様子などを中心に…、そして、いよいよ本日のメイン、ワークサポートセンター‘アンジュ’の相馬良文施設長の卓話に移りました。

横浜YMCAでは、2007年に開所の発達障がいの子らのためのパン工房‘アンジュ’、2014年度在籍者26名に対し、常勤・非常勤合わせて9名の職員で運営していたが、事業上赤字となり、主に在宅の障がい者を対象とした支援センターレザンを、同じ戸塚区内に昨年9月に開所、就労移行支援者施設のアンジュとは支援対象の異なる施設が誕生した。昨今、こうした作業所を希望する人数が増えている一方で、個人に合う作業所を見つけていくことが本人の将来像を描く上でも➡

さらに大切なことで、高齢者の施設や保育園と同様に、選ばれる作業所であるための必要な要素を充実させなければならない。例えば、特徴のある活動内容、家族への安心感、そうした人々による相談の場・生活の場・就労の場の提供等々…が不可欠となる。考えられるワイズメンズクラブとの連携・支援策としては、例えば、今行われている商品購入や施設利用などの増進、また年、何回かに分け、交流や見学・体験会の開催などいかがか…。

2、3の質疑があり、また、支援等については第2例会で検討することで、30分を超えた卓話は拍手のうちに終わりました。

引き続きビジネスに入り、報告事項では、YMCA 会員大会や鎌倉クラブと合同で開催・支援の「幼児サッカー大会」の状況などが担当主事から報告され、また会員大会を機にワイズに特段の関心を寄せられ、当夜ご出席いただいた柴原様からご挨拶いただき、大きな拍手に包まれました。ハッピーバースデイの後、一同、記念撮影に納まり、定刻に閉会点鐘となりました。

有志で‘かしお’に移り、柴原さんを中心に交流を深めました。



第84回YMCA-Ys協議会から☆ 加藤 利榮

3月5日(火)19時から20時30分まで、中央YMCA501号室において横浜クラブの担当により標題の会が開かれ、開会礼拝の後、田口総主事と佐藤部長から、それぞれご挨拶がありました。

協議では、長田主事から、昨年10月開催のチャリティーラン支援金の説明と、申請のあった事業や団体名などが一覧で示され、私には中々興味のある内容でした。さらにBAPY(子ども支援)基金について、厳しい現状などが紹介され、同基金の重要性が再認識されたことでした。(BAPY: Be A Partner of the Youth の略)

報告では、田口総主事から、『2019年度横浜YMCA全体事業方針・計画』が発表され、その中で、19年度基本聖句は、“仕えられるためではなく仕えるために”—マタイによる福音書20章28節—、またYMCAが主要課題としてきた各種取組みを国連が提唱するSDGs(Sustainable Development Goals)運動に連なって進め、公平に将来の夢や希望を描ける社会を目指したい…と。更に、2月27日のピンクシャツデー関係では、当日、横浜駅東口のそごう前でファイナルイベントが行われ、声優による朗読劇や自死された子の保護者からのメッセージなどのイベントが行われた旨のお話しもありました(当日のNHKテレビに総主事も画面に…)。一方、ワイズからは、合同新年会、沖縄訪問、部エクステンション委員会の各報告が佐藤部長からなされ、定刻に閉会しました。

☆第2例会報告☆ 浦出 昭吉

日時：2019年3月19日(火) 18:30~20:00
会場：湘南とつかYMCA 205号室
出席者：(ビジター) 相馬良文アンジュ施設長

服部雄貴ウエルネススタッフ
(メン) 加藤・佐藤・土方・吉原・若木・浦出
(メネット) 加藤・吉原 計 10名

◇ 報告事項

- ①3/2(土) 第1例会(別掲)
- ②3/5(火) 第84回Y-Ys協議会(別掲)
- ③3/5(火) 次期部長選考委員会(掲示板参照)
- ④3/9-10 次期会長等研修会：東京オリンピックセンター
- ⑤3/17(日) 横浜つるみクラブ設立総会(別掲)
- ⑥YMCA関係 4月1日付人事異動が行われる予定

◇ 協議

- ①柴原和可氏の入会手続きについて
- ②ロースターの加除点検について
- ③アンジュ及びレザンへの支援の在り方について
- ④森田次期部長(沖縄クラブ)の公式訪問について
- ⑤ブリテン原稿の提出について

【特別寄稿】

☆突然襲ってきた大阪北部地震☆

第10代西日本区理事 森本 榮三 (大阪高槻)



また今日から一週間が始まるな...と思いつつ急ぎの仕事を片付けるため、自宅横のビル4階にある事務所のパソコンに向かっていました。突然、突き上げるような衝撃を感じ、書棚から本が崩れるように落ちてきた。10秒ほどで揺れは収まったが、つけていたテレビや携帯電話からは一斉に緊急地震速報が鳴り出した。一瞬「南海地震が来た!」と思ったが、これが高槻を震源とする「大阪北部地震」(2018,6,18(月)・7:58)の始まりだった。

1階で朝礼をしていた植木職人たちが、「どうも無かったですか...。」と上がってきてくれ、取りあえず足の踏み場をこしらえてくれた。昨年、代表を交替した息子には、班分けしてお得意様宅に伺い、被害状況を確認するよう指示した。

テレビからは民家の火災、送水管の破裂、小学生がブロック塀の下敷きになった現場が中継されている。全国のワイズメンの皆さまからお見舞いの電話が掛かりだした。会長と手分けしてメンバーの被害確認をメールと電話で行う。

窓の外を見ると、上空に何機ものヘリが飛んでいる。高槻駅のホームには誰もいない。アッそうだ、電車も止まっているんだ...と気付く。大阪方面を見ると、電車を降りて線路上を歩く乗客の姿が目に入った。慌ててカメラを持ち出しホームから写したのがこの写真、朝日新聞に掲載され、月間賞や年間大阪府代表作に選ばれた。

9カ月を過ぎた今も高槻の街や村の住宅にはブルーシートが掛かったままで、職人さんと材料の不足で、今年中の復旧は見込めないとされている。

今年こそ災害の無い平和な年であることを祈るばかりです。

最後に、多くの皆さまから見舞っていただき、感謝申し上げます。



(森本さん、お忙しい中を貴重な原稿、有り難うございました。)

アンジュ通信

施設長 相馬 良文



アンジュでは2月27日のピンクシャツデーに合わせて全員がピンクのシャツを身に着けて「いじめ」をなくす運動に参加しました。いじめられた当事者も多数いるので慎重に声を掛け、賛同を得て実施しました。障がいのある方は、社会との関わりが限定的になりがちです。自分の気持ちを表に出すことも苦手なことが多くあります。この活動への参加が、自分を表現するきっかけとなることを願っています。(写真下)

3月10日に戸塚駅頭で行われた「震災復興イベント」には3名が参加しました。街頭に立ち支援募金を呼び掛けました。初めは小さな声でしたが、募金をしてくださる方々に心を強められ、大きな声で呼び掛けることができました。人は、自分と周囲の環境によって、その可能性を大きく広げることができます。障がいがあっても、一人の市民として社会で活躍する機会を作っていきたいと思ひます。



☆復興支援コンサートから☆ 加藤 利榮

東日本大震災から8年となる3月11日の前日の10日(日)、午後2時から湘南とつかYMCAホールにおいて、今や恒例となったこのチャリティーコンサート、'Heart to Heart みんなの想いを乗せて'のテーマで今年も開かれました。

第一部の'うたごえ広場'、このプログラムが湘南とつかYMCAで始まったのが、15年前の2005年7月、以来、月の第3火曜日・14時から、家城孝治さんのピアノと寺田文恵さんの司会で、毎回200名を超える入場者数を維持して今日に至っており、さらに、始まって間もなくの頃、JASRAC(音楽著作権協会)への許・認可について関わったなどの思い出や、家城さんとは同じ大学出という心安さから、久方ぶりの懐かしさも加わっての心楽しいひと時でした。

続いての第二部'クラシック'では、例年この催しにお馴染みの出演者の皆さん、中でもヴァイオリニストの井上八世以さんは湘南とつかYMCAの運営委員にもなっていたにあり、また今回は'箏'も加わり、井上さんの伴奏で日本古来の名曲、宮城道雄作曲の'春の海'が演奏されるなど、超満員の会場を沸かせてくれました。

終わって、家城さんの提案で、出演者の皆さん一同と記念写真に収まり、挨拶を交わして再会を約し、会場を後にしました。



☆横浜つるみクラブ(仮)の設立総会に☆ 浦出 昭吉



3月17日(日)、陽光降り注ぐ午後のひと時、標題の会が鶴見中央ケアプラザで開かれ、加藤ワイズと参加しました。

14時、総会は、辻エクステンション委員長の司会で始まり、金子直前部長の開会点鐘、田口総主事・佐藤部長のご挨拶に引き続き、委員長報告やクラブ会則・役員・予算などの承認、さらに、田中博之アジア太平洋地域会長や宮内理事らからの祝辞、出席者紹介、会員紹介(写真)、そして久保会長から万感込めた挨拶、岡田勝美さんの閉会点鐘で終わりました。

会場を移動して15時過ぎから始まった交流会、同じテーブルには、沖縄の森田・伊藤のご両名と金沢八景の4名の顔ぶれ、定番、加藤ワイズの乾杯で始まり、アルコールも入ってのお料理に、60名を超える参加者の話題も弾みました。横浜つるみクラブの発展を心に、16時半、散会しました。

☆YMCA だより☆

～今年もオルタボイスフェスタ 2019 が～

瀬戸 俊孝



外国につながる子どもや若者たちの声や若者たちの声を聞くお祭り、今年も3月30日(土) 12:00 から湘南とつかYMCA で開かれました。

1 階ホールに設けられたステージでは、横浜翠嵐高校多文化共生研究会や厚木清南高校ダンス部、たぶんかフリースクールよこはま、多文化ユースプロジェクト、ヨコハマハギハッキョ・チャンゴグループほかの皆さんで、活発なステージショーが

繰り広げられ、やんやの喝さいが場内を圧しました。

一方では、展示物や模擬店などが屋内外広場で開店、在日外国人教育生活相談センター信愛塾やTIE トマトの会などの皆さんが、大きなメガホン片手にお客様を呼び込んでおりました。

さて、このフェスタを主催されている‘NPO 法人多文化共生ネットワークかながわ～略称：ME-net～’とは、どういう団体かといいますと、『「外国につながる子どもたち」の教育に関する支援を行っている NPO 団体です。それでは、「外国につながる子どもたち」とはどんな子どもたちかといいますと、国籍にかかわらず、日本以外にもバックグラウンドを持つ子どもたち…ということになります。

このフェスタも、年1回・10回を数えるまでになりました。後援団体も、湘南とつかYMCA を始め、戸塚区や神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、(公財) かながわ国際交流財団、(公財) 横浜市国際交流協会などからの支援も頂いて今日を迎えました。皆さんも是非一度ご参観ください。

☆今月の歳時記から☆

‘菜の花 なのはな’ と ‘葱坊主 ねぎぼうず’

‘菜の花’、菜種の花のこと。茎の高さは子どもの背丈ほどで、仲春から晩春にかけて黄色四弁の花を開く。葉は食用とし、種からは油を搾り、そのカスは肥料となる。

暖かい房州辺りでは、早春から畑一面に花が咲き匂うが、普通は桃の花の咲く頃、春の田畑を彩る。

菜の花や淀も桂も忘れ水	言 水
菜の花や月は東に日は西に	蕪 村
菜の花の四角に咲きぬ麦の中	子 規

次に‘葱坊主’、葱は冬の野菜だが、晩春になると、青い葉の間から円柱形の茎を出し、白緑色の小さい花を球状に密集させる。この花の形から‘葱坊主’又は‘葱の擬宝(ぎぼ)’と、何ともユーモラスな名を付けて呼んでいる。

葱の花ふと金色の仏かな	茅 舎
夜が来る数かぎりなき葱坊主	三 鬼
葱坊主も花なり白蝶あそばせて	素 貞

(舟)



☆4月・5月のこよみ☆

- 4/16(火) 第1例会(竹の子例会)・吉原会員宅・10:00
- 4/20(土) 第3回湘南・沖繩部評議会・中央YMCA・15:00
- 4/23(火) 第2例会・湘南とつかYMCA 205号室・18:30
- 5/21(火) 第2例会・ //

～4月会合のご案内～

- ① 第1例会
4月16日(火)・(掘る人) 10:00・吉原邸
(上以外) 10:30・ //
- ② 第2例会
4月23日(火) 18:30～・205号室
大事なお相談があります。ご出席の程を…。
アンジュのパンとレザンのコーヒーをどうぞ…。

～HAPPY BIRTHDAY～
川津 政義さん 4月17日

【掲示板】

会長

◎ 第4回横浜YMCAチャリティー・ゴルフ大会行われる

- ア 開催日：2019年3月8日(金)
- イ 場所：戸塚カントリー倶楽部
- ウ 参加数：109名
- エ 支援額：BAPY基金に88万円強
(吉原ワイズ)

◎ 森田次期部長のクラブ公式訪問について

- ア 森田幸二郎次期部長(沖縄)が7月25日(木)、とつかクラブを公式訪問されます。
- イ 当日は、18:30から湘南とつかYMCAホールにおいて鎌倉クラブとの合同例会となります。
- ウ プログラムは、鎌倉と協議しますが、ご意見・ご希望などありましたら、お聞かせください。
- エ 都合により変更されることも有ります。

◎ 踊場地区センター15周年感謝会開かれる

- ア 3月11日(月)・踊場地区センター・10時～12時
- イ 横浜YMCAが15年間指定管理してきたが、3月でその役割を終わるのを機に感謝会が開かれた。
- ウ Y・ワイズ・スタッフ関係者ら50名ほどが参集した。
- エ ワイズから、佐藤部長(厚木)・岡田(つづき)・若木・加藤・浦出の計5名が参加した。

◎ クラブ25周年記念礼拝を5月18日(土)に

- ア 本年は、クラブ創立25周年になります。
- イ 時を同じくして開所した湘南とつかYMCAと合同開催の予定で、現在 大高館長と協議中です。
- ウ 内容が決定次第、お知らせします。

【後記】

4月は‘1年の循環の始まり’と言われます。成るほど、年度初め・入学式・入社式…と、‘出会い’の月、さて、ワイズの方はどうでしょう。(TK)